

諏訪の杜っ子

令和5年11月13日
福津市立福間小学校
文責 校長

あいさつ、なかよし、がんばりを大事にする子の育成

ふるさとの自然を楽しむ

海岸松林ウオーク

「行ってきまあす！」アンビシャス広場の子供達が作ったゲートから元気よくスタートしました。10月29日（日）海岸松林ウオークが行われました。今回はコロナ期間を乗り越え記念すべき第10回。朝のうちは小雨が落ちていましたが、開催を後押ししてくれるかのように、天気は回



復に向かいました。

本校 PTA 役員さんも子供達の受付をしたり、ゴール後のポップコーンコーナーを開いたりして、松林ウオークを盛り上げてくださいました。また、野菜販売や豚汁の振る舞いがあり第10回開催を彩りました。コース別に色が違うプレートは、赤が5Km、青は8Kmコースです。かつては「13Kmのコースもあったんですよ」と参加した保護者の方が教えてくださいました。

50人ほどのふくまっ子がウオークに参加していました。家の人と歩いたり、友達と歩いたりして、楽しくゴールを目指しました。ゴール後は子供達のためにPTAで作ったポップコーンが待っています！

ウオーク翌日の月曜日、登校してきた子が「ゴールしてポップコーン食べました」とさっそく報告してくれました。

郷づくりの皆さんをはじめ、各区の方、豚汁作りや移動販売をしてくださった方々、そして本校 PTA、様々な方々の協力のもとに行われた海岸松林ウオーク。地域ならではの、福間ならではの催しに子供達が参加したことは、ふるさとへの親しみ、愛着を育みます。また、福間が誇る松林、海岸のなかで過ごした体験は、大きくなってふるさとを離れたとしても子供達の記憶に残ることでしょう。

ありがとうございました。